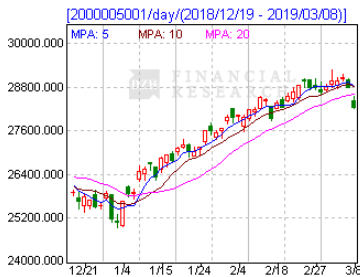


中国株ウィークリーレポート

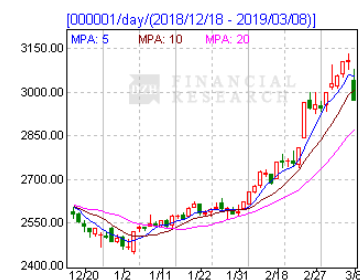
2019/3/11

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	25,450.24	-22.99	-0.09	-2.21	9.10	23,327.46
NASDAQ	7,408.14	-13.32	-0.18	-2.46	11.65	6,635.28
日経225	21,025.56	-430.45	-2.01	-2.67	5.05	20,014.77
上海総合	2,969.86	-136.56	-4.40	-0.81	19.09	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,657.58	-151.27	-3.97	-2.46	21.49	3,010.65
ハンセン	28,228.42	-551.03	-1.91	-2.03	9.22	25,845.70
中国企業	11,156.82	-303.26	-2.65	-3.04	10.19	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 2.0%安と続落、上海総合指数は 0.8%安

香港市場ではハンセン指数が週間で 2.0%安と続落。週前半は中国政府による政策期待や本土株高を背景に上昇が続き、6日には終値で節目の 29000 ポイント台に乗せた。ただ、週後半に入ると米中通商問題や世界景気の減速に対する懸念が再燃。ハンセン指数は再び 29000 ポイントを割り込む展開となった。本土市場では上海総合指数が週間で 0.8%安と 9 週ぶりに反落。7 日までは貿易問題を巡る米中合意への期待などを背景に好調に推移したが、8 日には利益確定売りで急落。1 週間の上昇分を帳消しにする動きとなった。

今週の展望: 香港市場は軟調な展開か、世界景気の減速懸念で利益確定売り

香港市場は軟調な展開が見込まれる。ECB の経済見直し引き下げに続き、米国の雇用統計や中国の貿易統計など弱い経済指標の発表が続き、世界景気の減速懸念が引き続き相場の重しとなりそうだ。14 日に中国の主要経済指標の発表を控え、警戒感が強まる公算が大きい。本土市場も軟調な展開となりそうだ。上海総合指数は先週、一時 3100 ポイントを突破したことで当面の達成感が広がっている。中国当局は相場の過熱に神経をとがらせ始めており、足元で大きく上昇した銘柄を中心に売られる展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 九龍倉置業地産(01997)	58.15	6.50
2 テンセント(00700)	347.00	3.21
3 恒隆地産(00101)	19.04	2.37
4 香港鉄路(00066)	45.75	1.22
5 瑞声科技(02018)	47.60	1.06
6 万洲国際(00288)	7.11	0.57
7 新鴻基地産(00016)	129.60	0.23
8 HSBC(00005)	64.25	0.08
9 恒基兆業地産(00012)	44.45	0.00
10 華潤置地(01109)	29.80	0.00

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国人寿保険(02628)	20.55	-9.87
2 吉利汽車(00175)	14.12	-8.43
3 チャイナ・ユニコム(00762)	9.15	-5.77
4 シパック(00386)	6.44	-5.43
5 中国海外発展(00688)	27.80	-5.28
6 銀河娛樂(00027)	51.60	-5.15
7 中国旺旺(00151)	6.09	-5.14
8 AIAグループ(01299)	75.00	-5.06
9 中国神華能源(01088)	18.54	-4.63
10 長江和記実業(00001)	79.90	-4.31

▼今週の主なイベント

3月14日(木)
 【中国】小売売上高、鉱工業生産(2月)、固定資産投資(1-2月)
 3月15日(金)
 【中国】全国人民代表大会閉幕

▼今週の期待材料

- ◆中国当局が新たにゲーム 95 タイトルにライセンスを付与、審査再開後の認可取得ゲーム総数が 736 本に
- ◆香港市場で複数の主力銘柄が期末決算を発表、業績上振れ銘柄への個別物色が活発になる公算
- ◆中国で全国人民代表大会が 15 日に閉幕、李克強首相の記者会見でポジティブな材料が出てくる可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆中国の不動産業界に警戒感、全人代常務委員が不動産税導入に向けた法整備を加速させる方針を強調
- ◆中国の 2 月の米ドル建て輸出が市場予想を大きく下回る 21%減、指標悪化で先行き懸念強まる公算
- ◆本土市場で相場の過熱に警戒感強まる、広東省の証券当局が高レバレッジ取引の取り締まりを強化

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 越秀地産 (00123) : 2 月の不動産販売額が 36%増加、販売面積は 15%増
- ☆ チャイナ・ユニコム (00762) : 13 日に 18 年本決算を発表、市場予想は純利益 4.7 倍
- ☆ Q テクノロジー (01478) : 2 月のカメラモジュール出荷量が 38%増加
- ☆ 中国中煤能源 (01898) : 15 日に 18 年本決算を発表、市場予想は 62%増益
- ☆ 中国平安保険 (02318) : 12 日に 18 年本決算を発表、市場予想は 17%増益
- ★ 東風汽車集団 (00489) : 2 月の新車販売台数が 18%減少、1-2 月は 17%減
- ★ 中国全通 (00633) : 18 年本決算は赤字転落の見直し、粗利益の大幅減などが響く
- ★ 華電福新能源 (00816) : 2 月の発電量が 3%減少、1-2 月は 7%減と苦戦
- ★ 華潤セメント (01313) : 18 年本決算は純利益倍増も市場予想下回る
- ★ 広州汽車集団 (02238) : 2 月の新車販売台数が 11%減少、1-2 月は 4%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。